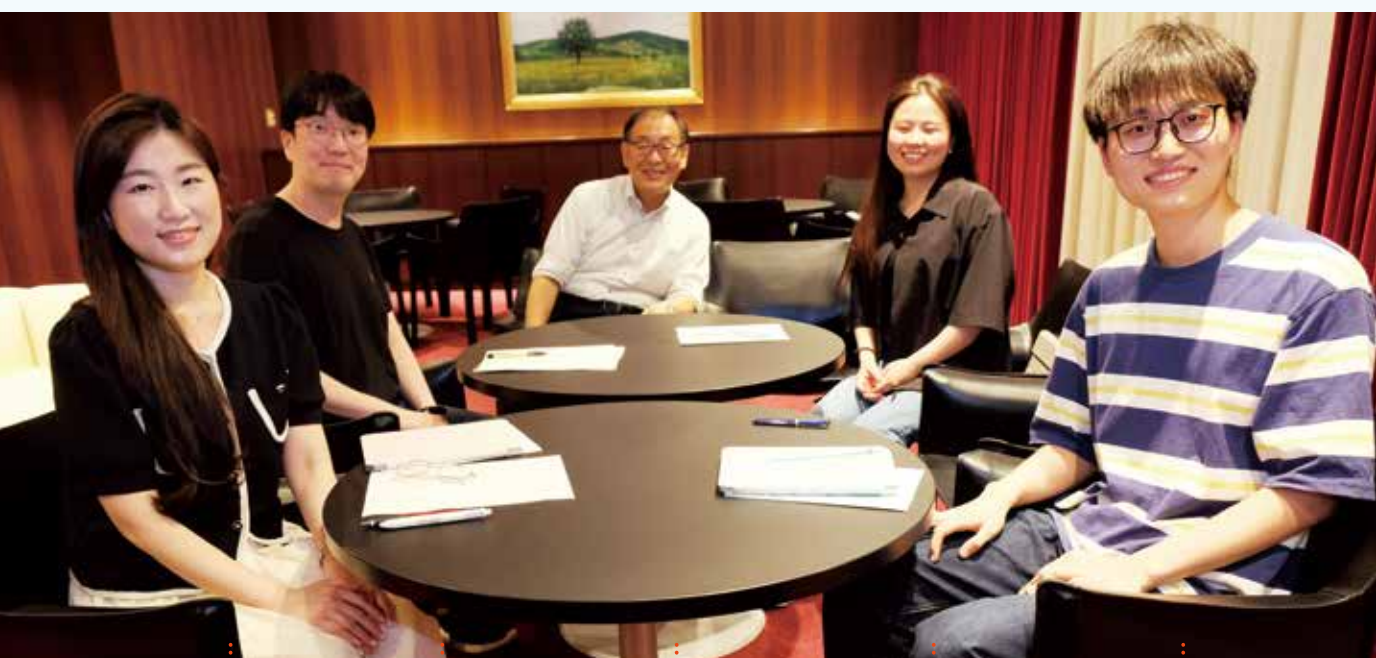


言葉の魅力

——外側から見た日本語

日々、私たちが読み書き、話し、聞く日本語。その特徴を客観的に捉えることは、簡単ではありません。本特集では、森山卓郎先生（早稲田大学教授）と、そのもとで学んでおられる中国・韓国からの留学生の皆さんとの座談会を行いました。母国での国語教育、そして、日本語のおもしろさや難しさについてのお話を通して、言葉の魅力にあらためて迫ります。



高天楽さん
コウテンラクさん

早稲田大学大学院修士課程
在学中。中国出身。専門は、
同格表現の研究。

姚瑶さん
ヨウヨウさん

早稲田大学大学院博士課程
在学中。中国出身。専門は、
感動詞の研究。

森山卓郎先生
モリヤマタクロウ先生

早稲田大学教授。博士（学
術）。京都府出身。光村図書
小学校・中学校『国語』教科
書編集委員を務める。

鄭柄旼さん
ジョンビンミンさん

早稲田大学大学院博士課程
在学中。韓国出身。専門は、
日本語文法における現実性
と非現実性に関する研究。

李慶旼さん
イギョクミンさん

早稲田大学大学院博士課程
在学中。韓国出身。専門は、
テキストにおけるテンス・
アスペクトの研究。

各国の

「国語教育事情」

中国・韓国の学校では、どんな国語の授業が行われていますか。

姚

中国の義務教育で学ぶ漢字の数を調べてきました。小学校低学年では、一六〇〇字を認識でき、うち八〇〇字を書くことができる。中学年では二五〇〇字を認識し、一六〇〇字を書く。高学年では三〇〇〇字を認識し、二五〇〇字を書く。中学校では、三年生までに三五〇〇字を認識することになっています。

森山 常用漢字の二一三六字より多い！大変だね。

姚 はい。一つの漢字を何回も書いて覚えます。国語の半分は暗記です(笑)。

高 「宿題を忘れたら、漢字を十回ずつ書く」みたいなこともありますね……。

森山 たしかに中国の学校では、小学校から大学まで、暗記している人の姿をよく見るなあ。韓国はどうですか？

鄭 私が高校生だった二〇〇〇年頃は、「国語」と別に「漢字」の授業がありました。が、今は漢字教育は義務ではないので……。

李 あ、でも、義務ではなくても、私は

中学校のときから授業がありました。小学校のときは、家で教わっていましたね。

森山 家で習うことはあっても、学校では習わなくなっているんやね。韓国語は漢字なしでも意味がわかるしね。古典とかの伝統的言語文化もやらなくなる方向かな？

鄭 うーん、伝統文化をやめたわけではなく、まずは、意味がわかるということが大事という……。学習指導要領でも、例えば「一分間でこのぐらいの内容が理解できる」みたいに「理解する」という表現が使われていますね。

李 うん。それで例えば、漢文の授業では、その背景をしつかり学んだりしますね。

森山 なるほど。じゃあ、例えば「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」(令和三年度版教科書二年P165)は、日本では書き下し文を読むんだけど、中国・韓国ではどう読むの？

姚 中国では、現代中国語でそのまま読みますね。「クーレンシーツーフアンハーロウ／イエンファサンユエシヤンデヨウ」という感じで。

森山 韓国では、意味だけ学ぶんですか？

鄭 はい。「国語」の授業では、ハンゲルの訳文だけを読んで意味だけ理解するので、

2

言葉の意味に
違いはあるか

母語と日本語で、漢字や熟語が違う意味で使われている例があったら教えてください。

高 なんだろう……「手紙」は、最初、ちょっとびっくりしてしまいました(笑)。

姚 中国では、「トイレットペーパー」の意味なので、「letter」の意味でも通じるといえば通じるんですけどね。中国語では、「手紙」は「信」です。

鄭 韓国語では、「手紙」は「pyeonji」と言います。漢字にすると、「片紙」ですね。

李 手で書いた手紙は、その前に「手(son)」を付けて「手片紙(son pyeonji)」。

森山 「自筆の手紙」みたいなことやね。他にはどう？ 例えば、「祝優勝」の「祝」なども驚いたことがあるよ。

鄭 韓国では、優勝したときのお祝いで、「祝優勝(chug useung)」を使いますね。

姚 中国だと、「祝優勝」よりも「祝勝利」のほうが使うかな……。

高 でもまあ、中国人が「祝優勝」という言葉を見たら、「将来、優勝しますように」っ

て理解しますね。

森山 うんうん。日本と韓国では、これは「優勝、おめでとう」の意味やねん。

高 じゃあ、「祝卒業」も卒業が決まってからしか使わない……。

森山 そうそう！ だから、「単位が足りなくて卒業できないかもしれない人」に使ったら、おかしい。逆に、中国語の「祝卒業」は、そういう人に使う感じがかな。

姚 問題なく卒業できる人に中国語の「祝卒業」を使う必要はないですからね(笑)。

森山 中国語の「祝」は、基本的に「祈」のような意味やね。じゃあ、これも有名な例だけど、「勉強」っていう熟語はどう？

鄭 あるけど、ほとんど使わないですね。

李 韓国では、「強制的に何かさせる」という意味になりますね。「勉強」の意味では、「工夫(gongbu)」を使います。

森山 意味を考えたら「勉めて強い」。実感、こもってます。中国は「学習」ですね？

姚 はい。中国では「勉強」の意味で「学習(Xuexi)」を使います。「勉強」は「無理をする」という意味。だから、日本語を勉強したての大変なとき、みんな「勉強、無理です」ってよく言っていました(笑)。

森山 おもしろいな(笑)！ そういえば、小学校の教科書には韓国の民話が載ってい

森山メモ

この日、漢詩の音読みハンゲルを実際に読んでみてもらいましたが、韻律がだいたいわかって、おもしろかったです。日本の授業でも、漢詩をお経のように音読してみると、韻律の雰囲気を感じられて楽しいかもしれません。



るんだけど……。『三年とうげ』（令和二年度版教科書三年下巻P65）。この話、知ってます？

李 知ってます！ でも「峠」は、韓国では「gogae」と読むハングルだけが使われていて、漢字はないんです。

鄭 意味は、日本語と同じですね。

森山 「アリラン」の歌にもあったね。「峠」は、山道を登っていき、尾根を越える所のこと。中国にはこの漢字はないよね？

姚 ないですね。「峠」という考え方が中国にはないのかも……。意味では「山頂（Shanding）」に近いけど……。

高 辞書には必ず「山頂」と出てくるので、僕は「山頂」の意味だと思っていました。

森山 あ、それは間違いやな！ 君ら、将来「峠」を正しく説明した辞書を出さないといけないなあ。

みんな （笑）

森山メモ

「峠」という言葉は、山の上にいる神様に何かを「手^た向ける」ことから転じて生まれたといわれています。この漢字は日本製です。日本人の信仰の気持ちや文化が、この背景にはあるといえます。

3

日本語のおもしろさ、美しさ

日本語を勉強するなかで感じている、日本語の魅力について聞かせてください。

姚 美しいところといえば、手紙やメールを書くときに、季節の言葉をよく使うことですね。自分で書くのは難しいけれど、とてもきれい。

みんな たしかに！

姚 春とか秋とか、天気とか。そこに繊細な感情が込められているようで、美しいなっているんですよ。

森山 俳句の季語もそうですね。日本人もよくわかっていない季語もときどきあってね……。笑。例えば、「時雨」。いつの季語だと思っ？

鄭 「時雨」は……秋ですか？

姚 三月とか四月とかじゃないですか？

森山 冬の初めぐらいやねん。同じ雨でも、「五月雨」は夏。あ、「蟬時雨」はぜんぜん違うで。

みんな へえ！

姚 覚えるのが大変……。

森山メモ

「季節感を大切にすることが美しい」というのは同感です。でも、スイカもレモンも枝豆も、季語としては秋。季語の季節と言葉から感じる素朴な季節感も、比べると発見がありますね。

森山 うん。でも、これを上手に使えたら、たしかにいいよね。中国では、こういう時候の挨拶はあんまり使わない？

姚 今はぜんぜん使わないですね。メールの最初から本題に入る。時候の挨拶や「お世話になってます」とかは書きません。

高 ただ、最後に「祝好^{チイハオ}」とだけ入れます。「Best wishes」みたいな意味です。

姚 そうですね。だから、日本の人にメールを書くときは、時候の挨拶を考えるのにすごく時間がかかってしまうんです。

森山 うんうん。韓国ではどう？ 時候の挨拶や「お世話になってます」は使う？

鄭 時候の挨拶は、私は書きますね。

李 うん、私も。それから、「お世話になってます」ではなく、「いつもありがとうございます」といいます。これは、私たちは最初から勉強しないと……（笑）。

森山 あ、そうそう、「たいへんお世話になってます」はいいけど、「大きなお世話」とは言うたらあかんで。

みんな （笑）

森山 他には、何かありますか？

李 私は、「美化語」がいいなって思います。韓国では、その名詞を丁寧^{ていねい}に言う他の言葉はありますが、「おー」「ごー」みたいなもの

座談会を振り返って

森山卓郎

日本語と同じ漢字圏の別の言語から見直してみると、本当におもしろいですね。鏡があることで初めて自分の姿がよく見えるように、別の視点から見てみることで、日本語や日本文化の姿が初めてよく見えるということがあると思います。私も日々、さまざまな形で学ばせてもらっています。

漢字の「勉強」のしかたも、国によって大きく異なっているという話でした。日本語の場合、訓読みがある他、音読みもいろいろで、その「学習」は、実はたいへん難しいといえます。まさにひと「工夫」必要かもしれません。座談会に出てくれたみんなの日本語が超級レベルなので、今回は問題にできませんでしたが、非母語話者が話す日本語の「不自然な表現」も、別の意味で示唆に富むものです。もちろん、母語話者の言葉への習熟のしかたも興味深い大切な研究テーマです。言葉のおもしろさに、いつも新鮮な気持ちで向き合い続けたいと思います。

